

暮らしたいまちに！ ☺☺☺ 暮らし続けたいまちに！

保守系

無所属

相模原市議会議員

2期目に挑戦

おおつき **和弘**

相模原市議会議員 おおつき和弘後援会
252-0317 相模原市南区御園5-6-16 TEL 042-745-5004

かずひろ



潤水都市 さがみはら

お年寄りと子ども達をまん中に、
あったかいまちをつくる。

安心



安全安心まちづくり

- 子育て、福祉、教育、医療、安心して暮らせる生活環境の整備！
- 日本一安全な防災・防犯対策の推進と人にやさしい道づくり！

活力



「潤水都市さがみはら」の発信

- 人、自然、文化、産業の調和した魅力あるまちづくりの推進！
- 企業誘致、産業商業の活性化による雇用創出と税財源の涵養！

改革



地方分権・議会改革の推進

- 国、県からの権限と税財源の移譲を求め自立都市の機能拡大！
- 政務調査費の用途基準の厳格化。より開かれた議会への転換！

安全安心を守る おおつき和弘 プロフィール

経歴

1955年(昭和30年)山形県酒田市生まれ
静岡県下田市立下田小学校
北海道根室市立花咲小学校
東京都品川区立第2延山小学校
相模原市立相模台中学校(2期生)
神奈川県立大和高等学校(9期生)
多摩美術大学美術学部デザイン科卒業
大機総合印刷研究所 代表

亡父(海上保安官)の転勤により各地に転校。

活動経歴

自治会法人 御園五丁目 自治会長(8年)
相模台地区 自治会連合会 副会長(4年)
御園児童館運営委員長(6年)
双葉小学校児童クラブ運営委員長
双葉小学校ふたばっ子見守り隊 初代隊長・現顧問
防災専門員(7年目)
双葉小学校避難所運営協議会 会長(3年)・現顧問
相模原災害ボランティアネットワーク副代表・現委員

議員活動

平成19年 相模原市議会議員選挙に初当選
平成21年1月 市議会改革をめざす若手政策会派
「相模原市議会 創史会」結成、会長就任。
市議会 民生委員会・建設委員会 副委員長
総務委員会、基地対策・産業集積特別委員会 委員
全国災害ボランティア議員連盟会員

受賞

相模原市市政功労表彰
市長感謝状(2回) 自治会活動・児童館運営
神奈川県警察本部長表彰(防犯活動功労賞)

ホームページで活動記録を公開中
***「おおつき和弘」で検索

新磯地区の

将来に向けた都市基盤整備と お年寄りにやさしい施策を！

1



相模線の複線化と 「磯部駅」の再設を！

新磯地域は、交通アクセスに大きな課題があり改善が強く求められている。県道「相模原茅ヶ崎」の改良と共に緊急車輛の通行に支障のない生活道路の安全性確保のため、狭あい道路の改善が必要だ！また、農業などの産業振興策と共に、将来を見据えたまちづくりを検討し、通勤通学など移動の利便性向上のため、相模線の複線化と共に「磯部駅」の設置を強く求め、都市基盤整備を進めるべきだ！

2



「買物難民」解消に向け 身近で便利なバス交通を！

「買物に行くことができない」「バス停が遠く通院や外出が思う様にならない」など、高齢化が進む南区にこそ買物や通院などの外出に便利な「コミュニティバス」などのきめ細やかな交通対策が必要だ！また、コミュニティバス導入の基準とされている「交通不便地域」の認定には、バス停から300m以上離れていることなどの条件を地域性などを考慮した柔軟な対応により、導入の促進をはかるべきだ！

3



「新磯高校」の地域活用を！

県立新磯高校跡地の利用計画が未定となっている。県、市の財源が厳しい中において、公共施設の新設や改修は長期間を要する。地域の福祉向上やコミュニティの充実、子ども達の居場所づくり、防災機能を持った公園整備などの市民利用を主体に検討し、跡地の有効活用をはかるべきだ！

*** 地域の未来、南区の未来、相模原市の未来のために頑張ります。**

南区の安全安心まちづくり！

1

**「保育所待機児童」の解消を！**

保育所待機児童の解消は、喫緊の課題となっている。市では、認可保育所の整備を基本として対策し、この春からは家庭的保育事業も始めるが、大きな改善には結びつかない。私は、より効果的な施策として認定保育室を利用した充実強化を提案している。相模原市は、平成25年4月までの待機児童解消を目指しているが、一向に回復しない経済状況の中、保育ニーズへの需要は高まり続ける。個々の課題を整理し、早急に市民の期待に応えるべきだ！

2

**「安全な生活道路」が必要
狭あい道路改善、歩道整備を！**

救急車や消防車などの緊急車両が通行できない狭あい道路が多い。火事、急病、地震災害などいつ起きるかわからない緊急事態に備え、安全な生活道路の整備が必要だ！ 4m未満の狭あい道路の改善、見通しの悪い交差点の改良、安全な歩道の整備などをしっかりと位置づけたまちづくりを進めるべきだ！
また、都市計画道路などの幹線道路と生活道路を区別し、安全な住生活環境を構築すべきだ！

3

**高齢化の進む「南区」にこそ
身近で便利なバス交通を！**

「買物に行くことができない」、「バス停が遠く通院や外出が思う様にならない」など、高齢化が進む南区にこそ買物や通院に便利な「コミュニティバス」などの利便性の高い、きめ細やかな交通対策による移動手段の確保が必要だ！
また、コミュニティバス導入の基準とされている「交通不便地域」の認定には、バス停から300m以上離れていることが条件となっているが、地域性を考慮する柔軟な対応により導入の促進をはかるべきだ！ 併せて、既存バス路線の生活時間帯に合わせたルート設定などのフレキシブルな検討も必要だ！

南区の安全安心まちづくり！

1

高齢化の進む「南区」にこそ 身近で便利なバス交通を！



「買物に行くことができない」、「バス停が遠く通院や外出が思う様にならない」など、高齢化が進む南区にこそ買物や通院に便利な「コミュニティバス」などの利便性の高い、きめ細やかな交通対策による移動手段の確保が必要だ！

また、コミュニティバス導入の基準とされている「交通不便地域」の認定には、バス停から300m以上離れていることが条件となっているが、地域性などを考慮する柔軟な対応により導入の促進をはかるべきだ！併せて、既存バス路線の生活時間帯に合わせたルート設定などのフレキシブルな検討も必要だ！

2

「保育所待機児童」の解消を！



保育所待機児童の解消は、喫緊の課題となっている。市では、認可保育所の整備を基本として対策し、この春からは家庭的保育事業も始めるが、大きな改善には結びつかない。私は、より効果的な施策として認定保育室を利用した充実強化を提案している。

相模原市は、平成25年4月までの待機児童解消を目指しているが、一向に回復しない経済状況の中、保育ニーズへの需要は高まり続ける。個々の課題を整理し、早急に市民の期待に応えるべきだ！

3

治安の要「南警察署」の 相模大野への移転を！



南警察署は、施設規模が手狭でスレハフの増築で急場を凌いでいる。運転免許証の更新や相談で訪れる市民にとっては、駐車場が少なく、公共交通機関の利用も不便だ。このため、西側再開発事業の進捗など都市機能の集積が進む相模大野（高相合同庁舎）への移転により機能強化を進めるべきだ！

また、運転免許証の即日交付などの市民サービスの向上と共に、事件事故への市民の相談機能の充実をはかるべきだ！

*** 地域の未来、南区の未来、相模原市の未来のために頑張ります。**